

令和7年度入学生 K・A さん

(1) 税理士の道を目指した理由

20代後半の頃、一生続けていける仕事をしたいと考えたのがきっかけです。国家資格を持って働きたいという思いがあり、今から挑戦できる国家資格を探しました。大学時代に数学を専攻していたこともあり、数字が好きだったという適正も考慮し、将来的な仕事の発展性も見据えて税理士を目指すことにしました。

新卒から約5年間は、全く別の業界である医療機器の営業職をしていました。その後、税理士を目指して現在の税理士法人に転職し、現在は実務に携わって4～5年ほどになります。税理士試験はこれまでに4科目合格しており、この大学院で修士号を取得することで、税理士試験科目免除制度を利用して資格取得を完了できる状態です。

(2) 平成国際大学大学院を選んだ理由

まずは立地です。自宅から通える範囲であることと、勤務先との間に位置していることが決め手でした。また、他の大学院と比較した際、本学は税法以外の授業科目数が非常に多かった点も魅力でした。民法や商法など、他の法律も幅広く勉強できる環境に惹かれ、入学を決めました。

(3) 研究テーマ

「法人税法22条」における、益金および損金の計上要件とその時期をテーマにしています。入学前から法人税を深く学びたいという明確な希望があり、先生と相談して決めました。法人税法22条は法人税法の根幹（肝）となる部分であり、細かい規定の背景にある本質的な部分を深く研究してみたいと考えたからです。

(4) 学びの中で、最も印象に残っているエピソード

授業で行っている「模擬裁判」が非常に楽しく、印象に残っています。普段の生活や業務では経験できないことですが、相手を納得させるための主張を考え、根拠を探して論理的に説明するプロセスはとても刺激的です。ここで培われる調査力や論理構築力は、修士論文の作成はもちろん、将来の実務にも必ず活かせると感じています。

(5) 今後の目標

大学院を修了して税理士資格を取得した後は、特定の分野に限定せず、あらゆる税目に対応できる「オールラウンダーな税理士」を目指したいです。本学を選んだ理由でもある「税法以外の法律」の知識も活かし、全般的な相談に応じられる専門家になりたいと考えています。

(6) 受験生へ一言

大学院は資格取得のための「一つ的手段」かもしれませんが、ここで学ぶ2年間は、将来税理士になる上で非常に大切な時間です。特定の科目だけを勉強すればいいと考えるのではなく、開講されている多くの授業に興味を持って取り組んでみてください。私自身もほぼ全ての授業を履修していますが、広く学ぶことで自分の興味や知見が広がり、それが良い税理士になるための糧になると信じています。